

1000年先の未来につながる杜を目指して、 『希望の杜』第二回植樹祭が開催されました。

2017年6月4日に、千年希望の丘・相野釜公園において、日本生命保険相互株式会社、公益財団法人ニッセイ緑の財団、玉浦西まちづくり住民協議会、中央大学の共催により「希望の杜 第二回植樹祭」が開催されました。植樹祭には、地域の住民、岩沼市市長をはじめとした岩沼市役所のみなさん、苗木づくりを2年間にわたり行ってくださった、鳥取県倉吉市立明倫小学校、湯梨浜町立羽合小学校の小学生など総勢206名の方々に参加していただき、約1400本の苗木の植栽を行いました。

第一回植樹祭では、沿岸域に存在した相野釜、藤曾根、二野倉、長谷釜、蒲崎、新浜を表現した6つの環の植栽を行いました。そして、今回の第二回植樹祭では、6つの集落を表現する環と、ドングリ学校の杜の2つの環を繋ぐように植樹を行いました。ドングリ学校の苗は、まだまだ小さいですが、育ててくださった方ひとりひとりの思いが込められており、私たちもその苗が千年希望の丘で大きく成長していくよう祈りながら植樹を行いました。

千年希望の丘は、海沿いのかつての集落跡につくられ、震災後から、植樹を継続的に行ってきた復興のシンボルです。千年希望の丘全体の最終的な目標は、30万本の樹木を植栽することであり、今回の第二回植樹祭前の時点で22万本の植樹を終えています。相野釜公園においては、前回の植樹祭から1年が経過し、当時小さな苗であった木々が、少し大きく成長しているのを感じることができました。今回、植樹した木々もぐんぐんと成長し、1000年後も人々に愛される杜となるよう、見守っていききたいと思います。



みんなで1400本を植樹しました。



協力して植樹を行う
鎌谷さん、森田さん



一生懸命穴を掘る下荒磯さん



たくさんの苗を植えた佐藤くん



千年希望の丘「希望の環」の将来の姿



多くの方々に参加していただきました。



小さなお子さんも一生懸命植えて
くださいました。